

2 楠学区連絡協議会（北区）

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	楠学区連絡協議会
2 事業名	子供、女性の安全対策事業
3 事業実施結果	<p>1.防犯少年団を中心とした活動</p> <p>楠学区では、令和4年度に引き続き楠小学校ならびに愛知県警北警察署の協力のもと、防犯少年団、楠学区独自の KUSUNOKI 防犯キッズ（3年生以上が対象）の計37名により以下の活動を行った。KUSUNOKI 防犯キッズのユニホームについては、昨年度に引き続き楠学区独自のものを作成した。</p> <p>（1）防犯少年団の発足</p> <p>北警察署、児童父兄、楠学区関係者の参加のもと、委嘱式を執り行い発足。委嘱式の後、県警本部の「のぞみ」による「つ・み・き・お・に」の寸劇で啓発を行い、その後1年間の活動の取り組みについて話し合いを行った。今年の新しい取り組みは、行政とコラボで町の危険な箇所のパトロールと北区長による講話で行政の取り組みについて学んだ。委嘱式では昨年続き新1年生、新任教職員、PTAにも楠学区特製「つ・み・き・お・に」の缶バッジを配布し啓発活動の一環とした。</p>    

(2) 学区内のパトロールと「子ども 110 番の家」の確認

北警察署、学区関係者、PTA 父兄、防犯少年団と防犯キッズの合同チームで「子ども 110 番の家」が記載された住宅地図を手にし、コース毎に「子ども 110 番の家」の位置確認を行うとともに、学区の危険箇所を参加者全員で共有化した。



(3) 北区長を囲んで行政防犯クイズ

北警察署生活安全課による先回のパトロールに関する防犯クイズを交えた講話の後、五味澤北区長による名古屋市・北区が取り組んでいる防犯活動についての話を聞き、子供達の質問に丁寧に答えてもらった。



(4) 楠オータムフェスタでの犯罪防止啓発活動

約2,000名近くが参加した「楠オータムフェスタ」では、防犯少年団が専用のブースを受け持ち、防犯クイズや「つ・み・き・お・に」のパネルを使った犯罪防止啓発活動、チラシの配布等を行った。パトカー展示・コノハズク警部の顔出しパネルなどのコーナーもありキッズ隊員の協力で盛況に行った。「楠オータムフェスタ」は、子どもだけでなく親の参加者も多く、効果的な啓発活動を行うことができた。



(5) 愛知県警察本部の見学

防犯少年団の年内最後の活動として、愛知県警察本部の見学を行い、父兄ともども65名の参加で新しい見学施設で警察の仕事や仕組みを学び、得た知識をもとに他の児童への展開を図った。



2.女性・高齢者への対策

(1) 落語を使った特殊詐欺防止講座

北警察署生活安全課による特殊詐欺にあわないための「い・ろ・は」を面白おかしく落語仕立てにした講座は、高齢者にはとってもしみがあり効果的で、その後の自宅電話に設置する詐欺防止の機械取り付けには13名もの申し込みがあり、警察パトネットには全員が登録し効果が大きいと期待される。



(2) 護身術講習と防犯セミナー

北警察署生活安全課の協力のもと、特殊詐欺に関する講話を聞き、あまり力を入れなくても防止できるひったくり・痴漢対策の護身術の講習を行った。護身術ならば私も・・・と高齢な男性も飛び入りで参加し和気藹々楽しく学べた。女性会お手製のティッシュケースとチラシで啓発用品を配布した。



(3) 防犯キャンペーン

学区内にある2か所のスーパーにて、防犯用ノボリを立て、女性と高齢者を対象にした防犯キャンペーンを実施した。キャンペーン時には、特製防犯ステッカーを合わせて配布するとともに、地域住民に呼びかけて防犯意識の向上に努めた。キャンペーンではチラシや啓発物品を2,000個用意し、スーパー近隣の施設や学区行事に配布した。



3.防犯パトロールと声かけ運動

(1) 防犯パトロール

楠学区の防犯委員会と各自治会の防犯委員等が行っている夜間パトロールや昼間パトロール時に、防犯に関する広報活動だけでなく、「一戸一灯運動」薄暗い場所など「子どもや女性」にとって危険性がある場所の呼びかけ注意喚起を行った。

(2) 声かけ運動

長年にわたり毎月1回、学区内の幹線道路の交差点で行う「おはよう運動」で、登校する小学生・中学生・高校生・一般の人を対象に「おはよう！」の声かけを行い、交通・防犯に関する声かけを行った。

(3) 見守り活動

楠小学校の児童の下校時に行う見守り活動において、見守り隊員に地域自主防犯活動の内容を周知した。年々見守り活動に参加するボランティアの数が増加し、現在 55 名の登録者が楠学区で作成した「つ・み・き・お・に」の缶バッジを付けて活動している。



(4) 年末特別警戒パトロール

地域防犯委員・ボランティアで年末の防犯パトロールを行った。楠学区には北区で2番目に大きな公園があり、夜間に中高生を中心とした若年層が集まり易いため問題行動が発生する事案が多く、今年初めて夜間徒歩による楠公園パトロールを実施した。



4 成果と課題及び今後の取組み	<p>(1) 成果と課題</p> <p>①防犯少年団・KUSUNOKI キッズの活動により、団員はもとより団員以外の児童に防犯意識を持たせることができ、大きな声での挨拶や児童の自発的な行動ができた。</p> <p>②楠学区で作成した「つ・み・き・お・に」の缶バッジを広く配付することにより、子どもから大人まで防犯に対する認識を共有することができた。</p> <p>③愛知県警北警察署の多大な協力もあり、通常ではなかなか入ることができない県警本部の見学ができたことは貴重な体験であった。</p> <p>④女性を対象にした護身術は、講師の先生の軽妙な語り口で、力がそれほどなくても、身を守ることができることを知る事ができた、分かり易くとても楽しく学べた。(男性も飛び入りで4名参加。)</p> <p>⑤スーパーでのキャンペーンや、楠学区行事の中でのチラシ等の配布により、地域住民に防犯意識を喚起することができた。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>①楠学区が独自に発足させた「KUSUNOKI キッズ」は、来年度以降も新たにメンバーを募集し活動を継続していく。</p> <p>②防犯委員会と楠小学校で協力し「子ども 110 番の家」を増加する。</p> <p>③若年層への声掛けを強化し犯罪を未然に防止する。</p> <p>④現在、パトロールは夜間が主となっているため、不審者対策やイタズラ対策として昼間（下校時以降）パトロールの回数を増やし、強化する。</p> <p>⑤各自治会と連携し、薄暗い場所での防犯灯や防犯カメラおよびセンサーライト等の設置を推進する。</p> <p>⑥子ども・女性・高齢者に対し、特殊詐欺や窃盗、「ひったくり」等の注意喚起や啓蒙活動を継続していく。</p> <p>⑦楠学区の標語である「子どもは町の宝です」を合言葉に、地域住民が一体となったパトロール強化、回覧板やホームページでの啓蒙活動を行う。</p>
-----------------	--